



いばらき



CONTENTS

特集 石崎・広浦・長岡 第二小学校閉校

- ◎ 各課からのお知らせ
- ◎ タウンニュース
- ◎ 文芸、すこやかニュース
- ◎ 情報ひろば
- ◎ 里山に育む生きものたち

2016

農家民泊もグローバル化
(ひろうら田舎暮らし、台湾の高校生を受け入れ)

三校の伝統が一つに集まり、新たな伝統がうまれる

学校再編最終章

石崎小学校・広浦小学校・長岡第二小学校閉校

茨城町では、児童生徒数の減少による小中学校の小規模化に対応すべく、小中学校の再編計画を平成23年から進めてきました。その中で、平成26年に桜丘中学校と梅香中学校が統合し青葉中学校が、平成27年に川根、上野合、駒場、沼前小学校が統合し青葉小学校がそれぞれ誕生しました。そしてこの度、当計画最後の再編として、石崎小学校、広浦小学校、長岡第二小学校が本年3月末をもって閉校し、4月から統合小学校葉小学校として新たな歴史を刻みます。

各小学校の校歌と歴史（沿革）

石崎小学校



石崎小学校校歌

作詞 生天目 喜兵衛 作曲 下野 米

一 紫はゆる 筑波山 優れて青き広浦の
気高く清き心もて つどうわれらのうれしさよ

広浦小学校



広浦小学校校歌

作詞 渡辺 芳雄 作曲 長洲 忠彦

一 広浦に海のおいが立ちのぼる
春だはずむ心が風を切る
しつかり背すじをのぼして しいの木はほほえむ ほほえむ
ここがぼくの ここがわたしの 広浦小学校
神塚にみどりの風がふきあがる

長岡第二小学校



長岡第二小学校校歌

作詞 川野辺 精 作曲 戸田 明男

一 はるかなる筑波あおぎて
ひとみ冴えかおりさやかに
常陸野の朝に羽搏く
長岡二小の児ら

二 緑濃き地を踏みしめ
つどいよる若き生命は
ああ われら われら
つねにけだかく

二 ゆたかにつづく広野原 とおきみおやののぞみあり
われらはここにむつみあい道を求めん いざ友よ

三 学びの庭のあけくれに 教えをうけてうぶすなの
春をかざるやさくらぎの花と咲かなん いざ友よ

四

夏だきびしい日々がやってくる
きつぱりけじめをつけに しいの木はまはゆく まはゆく
ここがぼくの ここがわたしの 広浦小学校
つくばねに潤沼の風がふきあがる
秋だゆたかな時がすぎてゆく
ずつしり心をみたし しいの木は実をもつ実をもつ
ここがぼくの ここがわたしの 広浦小学校
広浦にま鴨のむれがやってくる
冬だすんだひとみが風をみる
ゆつたり足をふみしめて しいの木はみまもる みまもる
ここがぼくの ここがわたしの 広浦小学校

二 光り浴び遠くひろがり
こころもて希望溢れし
勢い起ちさらにきらめく
長岡二小の児ら

三 桜咲く故里に生まれし
伝えつぐやさし胸内に
未来への鐘を誘う
長岡二小の児ら

夢を追ひ 延びる潤沼の
明日を招ぶあかき血潮は
ああ われら われら
今日も明るく

祖先らの教え守りて
燃ゆる炎を抱く想いは
ああ われら われら
とわにすがしく

M 6 上石崎小学校が一心院を仮校舎として開校する。
M 8 下石崎小学校開校（後の広浦小学校）
M 20 中石崎尋常小学校開校
S 11 石崎尋常高等小学校を本校とし、上石崎・下石崎を分校とする。
S 33 石崎村が茨城町に合併し、茨城町立石崎小学校となる
S 50 学校創立100周年記念式典
S 53 下石崎分校が広浦小学校として独立
S 55 第15回交通安全ことも自転車全国大会優勝
H 5 上石崎分校閉校
H 8 第1回しらさぎ祭り
H 9 第30回全国子ども会中央会議で石崎小学校区子ども会が表彰される
H 12 学校創立125周年記念式典
H 14 「人権の花運動」協力校として感謝状が贈られる
H 18 茨城海上日動教育振興基金より算数教育に関する研究実践が評価され表彰を受ける
H 19 外部講師を要請し「第5回公開校内研修会（算数）」実施
H 20 茨城県統計グラフコンクールにおいて表彰を受ける
H 22 石崎小学校が編著に関わった「子ども、教師、学校が変わった〇付け法の奇跡」出版
H 24 茨城県新聞教育研究指定校、NIE実践校指定（H26まで）
H 25 茨城県教育広報・NIEコンクール児童生徒部門で優秀賞
H 26 140周年記念大運動会実施
H 27 4年生以上の全児童が読書50冊以上を達成し、水戸教育事務所長賞
H 28 最後のしらさぎまつり・感謝のつどい実施
石崎小学校閉校記念式典
石崎小学校閉校

S 53 広浦小学校新設（下石崎分校独立）
S 56 学校独立記念式典開催
S 57 ソニー理科教育優良校賞
S 58 学校環境美化コンクール県表彰
H 1 環境保全県民運動（潤沼浄化）の推進により県議会議長賞受賞
H 4 県交通安全ことも自転車大会優勝
H 5 「豊かな郷土づくり」茨城県県民大会受賞
H 6 創立10周年記念式典
H 7 NHKテレビ全国放送（広浦清掃）
H 8 小平教育奨励賞受賞
H 9 潤沼浄化運動の実績により県教育長褒状受賞
H 10 茨城県教育委員会・教育弘済会研究論文優秀賞受賞
H 11 県教育委員会指定「心の居場所」づくり推進校として感謝状受賞
H 12 第36回全国花いっぱいコンクール優秀賞
H 13 県ボランティア活動普及事業協力校として感謝状受賞
H 14 潤沼広浦水族館完成
H 16 明日のいばらき潤沼環境フォーラム奨励賞
H 18 幡谷教育振興財団賞（理科教育優良校）
H 19 第38回全国花いっぱいコンクール法務大臣賞
H 20 創立25周年記念式典
H 22 ぬくもりのある教室づくり（H20完成）
H 25 茨城県体力づくり奨励賞
H 27 水質浄化活動功労者（団体）表彰
H 28 第43回花と緑の環境美化コンクール県教育長賞
広浦小学校閉校記念式典
広浦小学校閉校

S 58 長岡第二小学校開校
S 59 歯の衛生優秀校
H 4 創立10周年記念式典
H 7 町教育振興会研究指定校「図画工作」
H 8 花と緑の環境美化コンクール優良賞
H 9 ボランティアハート推進事業協力校
H 10 学校保健会東茨城郡支部より学校保健委員会表彰
H 12 茨城県指定学習障害児等教育相談町教育研究会指定校
H 13 交通安全子ども自転車水戸地区大会2位
H 14 花いっぱい運動定着推進事業認定
H 16 体力づくり推進事業発表
H 18 茨城県学校給食振興会会長賞表彰
H 19 文部科学省「学校教材整備の仕組みの構築」事業調査協力校
H 20 文部科学省「学校教材整備の仕組みの構築」事業調査協力校
H 22 ねんりんピック茨城2007ハッスルきつず隊指定
H 25 県教育広報・NIEコンクール学校だより「こじか」優秀賞
H 27 茨城県金融広報委員会委嘱「金銭教育研究校」研究発表会
H 28 花と緑の環境美化コンクール2年連続最優秀賞
長岡第二小学校閉校記念式典
長岡第二小学校閉校

葵

平成28年4月

葵小学校開校

平成28年度町政執行方針



小林町長は、平成28年第1回町議会定例会開催にあたり、平成28年度の町政執行方針を述べました。その概要を掲載します。

○安全・安心で活力あるまちづくり

・組織機構の見直し

多様化する町民ニーズに迅速かつ的確に対応できる行政運営の推進を目的に、横断的な総合調整機能を有する「町長公室」の新設や、高齢者福祉の取組強化を図るため「長寿福祉課」の新設など、組織機構の大幅な見直しを行い、魅力あるまちづくりを目指します。

・健全財政の維持

社会情勢の変化により、町の財政状況は厳しさを増すことが予想されます。滞納の発生防止と滞納処分などによる徴収率の向上を図り、自主財源の確保と税負担の公平化に努めると共に、行財政改革などを通じて健全財政を維持しながら、質の高い行政サービスを持続的に提供できるよう努力していきます。

・茨城町まち・ひと・しごと創生総合戦略

本戦略では、人口減少の克服や地域課題の解決に向けて活力ある茨城町であり続けるための基本目標や施策が定められています。今後は本戦略に基づき、

人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある茨城町を維持していくため、全力で取り組んでいきます。

・地域おこし協力隊・集落支援員

地域おこし協力隊は、5名の隊員が内外への情報発信や、地域事業への参画を行い、地域力の向上を図りつつ、定住に向け地域に密着した活動を積極的に展開しつつあります。集落支援員についても、昨年実施した集落アンケートに基づき、地域の特色をいかした取り組みの提案を行っており、その活動内容の充実化を図ります。

・町の情報発信

広報・広聴機能の充実と町民生活の利便性向上のため、今年2月に町のホームページをリニューアルしました。今後は、新ホームページをいかし、情報の質と迅速性を高め、利用しやすいものにしていきます。

○健やかな心身と思いやりを育む 安心のまちづくり

・健康づくりへの取り組み

「第2次茨城町健康増進計画・食育推進計画」を基盤とし、乳幼児期から高齢期までの、各ライフステージにおける健康づくりを推進していきます。

・いきいき健康づくり推進事業

地区訪問活動において、認知症予防、介護予防に取り組むとともに、新たに歯周病予防教室を取り入れるなど、内容の充実を図っていきます。

・不妊治療費助成事業

1回あたりの助成額を増額し経済的負担の軽減を図るとともに、妊娠・子育て世代を対象とした「ハッ

ピー子育てメール」の配信や、精神的に不安定な妊産婦に対する支援の充実など、出産・育児をサポートする対策を推進していきます。

・予防接種事業

乳幼児期において罹患率の高いロタウイルス胃腸炎の予防接種に対する一部助成を新たに実施し、感染症予防に努めます。

・健康診査事業

胃がん検診について、これまでの集団検診に、医療機関で行う検診を加え、利便性を高めます。また、がん検診や骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検査について、引き続き節目の年齢の方に無料クーポンを配布し、受診率の向上を図り、疾病の早期発見・早期治療につなげていきます。

・福祉施策

高齢者福祉タクシー事業や単位老人クラブに対する補助制度により、高齢者の外出促進とともに地域交流の活性化を促進します。また、緊急通報システムや愛の定期便事業により、一人暮らし高齢者の安心・安全を確保するなど高齢者福祉の増進に努めます。

・少子化対策

婚活応援推進事業を進めるとともに子どもの各成長段階における各種子育て支援施策を充実し、子育てしやすい町づくりに努めます。

○充実した教育と 安心コミュニティのまちづくり

・学校教育関係

児童生徒の学力向上を図るため、個々の能力に応じたきめ細かな授業を行う「学習指導支援講師配置

強化を図ります。

また、防災行政無線について、デジタル化更新に向けた調査・研究を進めていきます。

・涵沼の水質改善

生活排水対策を積極的に推進していきます。併せて不法投棄に対するパトロールも強化します。

・交通安全対策

警察や関係団体と連携し、交通ルールの啓発活動や交通安全施設の整備を行い、交通事故防止に取り組んでいきます。また、地域の安全安心を守るため、通学路を中心に防犯灯などの施設整備を進め、適切な維持管理に努めます。

・ごみ処理の広域化

霞台厚生施設組合において、一般廃棄物処理施設整備基本計画が策定されました。今後、関係市町村（石岡市、かすみがうら市、小美玉市）と連携しながら、計画が着実に進められるよう努めます。また、ごみの減量化とリサイクルを推進し、資源・エネルギーを無駄にしない「循環型地域社会」の構築を目指していきます。

・インフラ整備

引き続き幹線国・県道について要望を行うとともに、町道につきましても、町道109・120・202号線を重点に整備促進を図っていきます。上下水道についても3か年実施計画に沿って整備を進めていきます。

・消防

町民の生命・財産を災害等から守るため、消防施設及び車両・資機材等の各種整備を充実し、機動力の増進を図りながら高度な防災体制の構築に努めます。

○豊かさを実感できる活力ある まちづくり

・ラムサール条約湿地涵沼

「涵沼」の保全・再生、賢明な利用、交流・学習を推進し、観光・地域振興を図るため、茨城町、鉾田市、大洗町と関係団体等で組織する「ラムサール条約登録地ひぬまの会」を設立しました。今後は、3市町、各団体、企業等が一体となって、涵沼の魅力を発信し、地域の活性化、観光振興、環境保全等を図ります。



・農業の振興と産業の活性化

農業活性化対策の一環として、「こだわり農業」の



茨城町は、「安全・安心で活力あるまちいばらき」という将来像に向けて、町民の皆さまの期待に応えられる効率的・効果的な行政運営をより一層推進するため、町組織機構の一部見直しを行いましたので、その概要をお知らせします。

組織見直しの方針

町民サービスの向上を目指し、行政課題に効率的に対応する組織づくり

組織機構を見直す考え方として「分かりやすく、利用しやすい組織」、「様々な行政課題に迅速、かつ効率的に対応できる組織」を基本に取り組みました。

教育委員会の移転について

教育環境の整備と充実を図るため、本年6月から教育委員会学校教育課と生涯学習課を旧駒場小学校跡地へ移転する予定です。

教育行政を行う2つの課が同じ職場で、密接に連携し、それぞれの特性を発揮しながら学校教育、青少年教育、文化振興など、本町の教育行政の更なる充実と振興を図ります。



主な改正点

◆**町長公室の新設**

地方創生、定住化促進など、本町を取り巻く状況の変化に迅速に対応するため、各部局との調整機能を有する**町長公室を新設します**。

同室に**秘書広聴課、企画政策課、町民協働課**の3課を配置します。

町民の皆さまのご意見を迅速に反映するための広聴部門と、町の魅力を発信するための広報部門の強化や、区長会などの地域コミュニティの地域密着型事業を一元化し、協働のまちづくりを推進します。

◆**長寿福祉課の新設**

本町で暮らす高齢の方に対し、住まいや医療、介護などを一体的に提供するため、**長寿福祉課を新設**し、本町の介護予防や各種地域支援事業の企画など、更なる実施体制の強化を図ります。

◆**商工観光課の設置**

ラムサール条約登録湿地洳沼などの観光資源を活用し、各種イベントを開催するとともに、観光PRを強化し、より一層の地域振興を図ります。

◆**一元化による事務の効率化**

① 町税等の賦課と徴収が一体となり、適正な課税と効率的な徴収を推進するため、税務課と収納対策課を**税務課に統合します**。

② 道路に関する業務を一元化し、道路の新設から維持管理までを効率的に行うため、**道路建設課を新設します**。

※組織改変に伴い庁舎内の配置も変わるため、今号ではお問い合わせ先の電話番号を主に代表番号で記載しています。

被災者生活再建支援金〔基礎支援金・加算支援金〕申請期間の延長のお知らせ

東日本大震災により居住する住宅を失うなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対し、被害の程度に応じて支給される被災者生活再建支援金「基礎支援金・加算支援金」の申請期間が、再延長されました。

【内 容】 基礎支援金・加算支援金の申請期間の延長

(変更前) 平成28年4月10日まで → (変更後) 平成29年4月10日まで

【対象世帯】 ・住宅が全壊または大規模半壊した世帯 ※この期間中に申請手続きが終了している必要があります。
・住宅が半壊し、または住宅の敷地に被害が生じ、その住宅をやむを得ず全て解体する世帯

【支 給 額】

	基 礎 支 援 金	加 算 支 援 金
支 援 金 額	全壊・・・100万円(75万円) 大規模半壊・・・50万円(37.5万円) ※()内の金額は世帯人員が1人の場合 ※半壊・大規模半壊の判定で、住宅を解体した場合には、全壊に該当となります。	建設・購入・・・200万円(150万円) 補修・・・100万円(75万円) 賃借(公営住宅を除く)・・・50万円(37.5万円)
必要なもの	り災証明書(原本)、住民票謄本、預金通帳の写し、印鑑等 ※半壊・大規模半壊の判定で住宅の全てを解体した場合には、上記以外の書類も必要になります。詳しくはお問い合わせください。	今後の住宅の再建方法(住宅の建設・購入、補修または賃借)を確認できる契約書 等

※加算支援金は基礎支援金を申請した方が対象となります。加算支援金だけの申請はできません。

【そ の 他】 支給決定等は、被災者生活再建支援法人(公益財団法人 都道府県会館)が行います。

【問合せ先】 社会福祉課 ☎029-292-1111

「生活自立相談窓口」のご案内

平成27年4月から、生活困窮者自立支援法が施行されました。

茨城県福祉相談センター(県央福祉事務所)では、「仕事が見つからない」「病気で働けない」「家族のことで悩んでいる」など、生活にお困りの方々が、より身近な場所で相談できるように、茨城町役場において巡回相談を実施します。

一人で抱え込まずに、まずはご相談ください。ご家族の方や周りの方からの相談でもお受けいたします。相談内容の秘密は厳守します。

◇相談日 毎月第2水曜日(予約制)

〔4月13日、5月11日、6月8日、7月13日、8月10日、9月14日、10月12日、11月9日、12月14日、1月11日、2月8日、3月8日〕

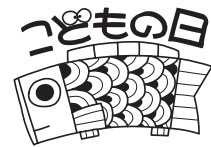
◇開設時間 午前10時～午後3時(正午～午後1時を除く)

◇場 所 茨城町役場1階 社会福祉課相談室(茨城町小堤1080)

◇相談内容 生活の困りごとや不安なことを抱えている方(生活に困っている、仕事が見つからない、病気で働けない、家族のことで悩んでいるなど)に対し、専門の支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを一緒に考え、一人ひとりの状況に合わせた「支援プラン」を作成し、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。

◇相談費用 無 料

【予約・問合せ先】 茨城県福祉相談センター生活保護課(相談支援員・就労支援員) ☎029-226-1512
茨城町社会福祉課 ☎029-292-1111



子育て支援センター 5月

～遊び図おいでよ～

町子育て支援センターでは、子育て親子に寄り添い、親子のふれあいと子どもとの絆づくりを大切に活動を行っています。

★遊戯室『まんまる一む』開放★：日曜、祝日、年末年始を除く午前9時から午後5時まで

－ 活 動 予 定 －

★ 子育て相談日 ★ ー予約制ではありませんー

・日時 11日(水) 午前10時～11時30分
・場所 保健センター 健診室
・内容 保健師、管理栄養士による相談、身体計測

★ 読み聞かせ ★

＊子育てボランティアによる読み聞かせを予定しています。
・日時 18日(水) 午前11時～11時15分
・場所 遊戯室「まんまる一む」

★ 砂場開放 ★

＊戸外の気持ちよさを感じながら、砂場で遊びましょう。
・日時 25日(水) 午前10時30分～11時30分
・場所 ゆうゆう館 中庭砂場

★ 『ミニ・セミナー』 ★

＊親子でふれあう 楽しい時間を過ごしましょう。
・実施時間 毎日11時～(10分程度)
・場 所 遊戯室「まんまる一む」
※状況により実施しない日もあります。

「子育てボランティアと遊ぼう」

遊戯室「まんまる一む」にボランティアの方々が遊びに来ます。一緒に遊んだり、おしゃべりをしたりしながら、ボランティアの方々と過ごしましょう。時間は午前10:30から11:30です

＊5月は27日(金)です！＊

《子育てセミナー(町内の未就学児とその保護者対象)》

『みんなでピョン』

～親子で体を使った遊びを、楽しみましょう～

日時 13日(金) 午前10時30分～11時30分
場所 保健センター 健診室
内 容 ふれあい遊び 親子体操 わらべうた遊び ミニアスレチック など
持ち物 タオル、着替え、飲み物
＊動きやすい服装で参加してください。

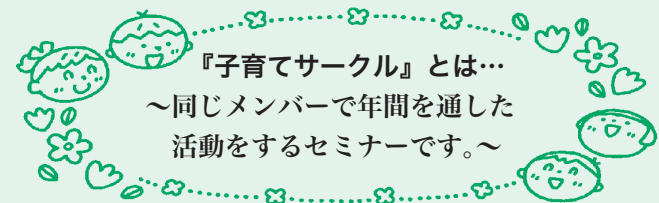
ー予約開始日 4月22日(金) ー

『子育てサークル』の育成－メンバー募集－

～参加者同士交流を楽しみましょう～

日時 19日(木)《第1回》 午前10時30分～11時30分
場所 保健センター 健診室
内 容 自己紹介、名札製作
持ち物 タオル、飲み物
＊定員になり次第募集を終了します。

ー予約開始日 4月11日(月) ー



対象者：平成26年4月2日から平成27年4月1日まで
に生まれたお子さんとその保護者

同年代の子どもをもつ母親が集まって、一緒に子育てを楽しむ「子育てサークル」のメンバーを募集します。

活動内容は、親子でのふれあい遊びや手遊び、絵本の読み聞かせ、工作などです。

同年代の子どもをもつ親だからこそ共有できる、楽しみや悩みを自由に語り合うことができます。支援センターの職員がアドバイスやお手伝いをします。「こんなこと、あんなこともしてみたい」と、みんなで一緒に活動してみませんか。



－ 詳細はお問合せください。－

【問合せ先】 保健福祉部こども課 子育て支援センター ☎029-291-0980
茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」内

2/20 (土) 広浦小学校 2/21 (日) 石崎小学校 閉校記念式典

今年3月末をもって閉校する広浦小学校、石崎小学校において、閉校記念式典が開催されました。両校とも校旗を町に返却し、各校の歴史を振り返るなど、慣れ親しんだ学び舎への別れを惜しましました。また、長岡第二小学校においては、昨年11月に閉校記念として「さよなら長二の日」を実施したほか、修了式に合わせて閉校記念式典を行います。

広浦小学校



長岡第二小学校



石崎小学校



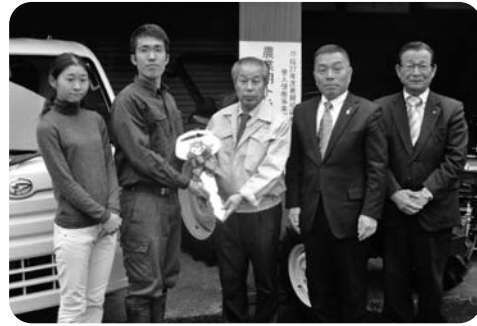
2/23 (火) 茨城町で農業を始めよう！
新規就農希望者、研修開始

茨城町農業公社では、町外から新規就農希望者を受け入れ、研修を通して新たに町内で農業を始めてもらう事業を行い、町内農業の発展を図っています。

この度、初めての新規就農希望者が町内に定住し、農業研修が始まるにあたり、新規農業研修生に貸与する農業用トラックやトラクターなどの貸与式が行われ、農業公社理事長の小林町長から、研修生の村田さん夫妻にトラックの鍵が手渡されました。

村田さん夫妻は3年間、香川県の農業法人に勤務していましたが、2月から茨城町に定住し、J A水戸ねぎ生産部会による指導のもとで、ネギ栽培等を学び、新たな農業経営者を目指します。

村田さんは、「一生懸命農業に従事し一人前となって、町外からの就農者の手本になるよう努力します。」と決意を表明しました。



2/23 (火) 潤沼の畔でホット一息しませんか



ラムサール条約湿地登録を機に多くの観光客が訪れるようになった潤沼。「潤沼の畔で一息つきながら、潤沼の四季折々の美しさを堪能して欲しい。」と、青山和行さん（長岡）から、木製ベンチが広浦公園と親沢公園に寄贈されました。

寄贈されたベンチは、広浦公園に7基、親沢公園に3基設置され、来園者の憩いの場となっています。

2/1 (月) 災害時支援協定 新たに3団体と締結

茨城町は茨城放送、茨城ガスセンター協業組合、常陸森紙業茨城事務所とそれぞれ災害時支援協定を締結しました。

東日本大震災のような大きな災害が発生した際には、茨城放送には町からの災害情報の発信を、茨城ガスセンター協業組合には避難所等の燃料確保を、常陸森紙業茨城事務所には避難所等で使用する段ボール等の提供をそれぞれ依頼できるようになりました。

(写真は茨城町長と茨城放送阿部重典総務局長)



2/5 (金) 潤沼、いばらきイメージアップ大賞2015奨励賞受賞



茨城県では、「元気ないばらきづくり」を推進するため、「いばらきイメージアップ大賞」を実施しています。この度、ラムサール条約湿地に登録された潤沼が奨励賞に選ばれ、市町間の垣根を越えて潤沼を盛りあげている銚田市・茨城町・大洗町の代表者が受賞式に出席しました。

受賞に至ったポイントとして、「ラムサール条約の基本理念であるワイズユース（賢明な利用）の考えを取り入れ、豊かな自然を大切に守っていくためのこれからの活動に期待を込めた。」と評価されました。

なお、大賞には水戸芸術館が、ウラ大賞として県非公認キャラクター「ねば〜る君」がそれぞれ受賞しました。

2/10 (水) 廣瀬誠氏、潤沼の今昔を語る

茨城町観光協会では、潤沼のラムサール条約湿地登録を記念して茨城県環境アドバイザーの廣瀬誠さんを招き勉強会を開催しました。

勉強会には、茨城町観光ボランティアガイドなど、合計23名が参加。廣瀬さんは潤沼の湖面をバックに、かつての潤沼でニシンが大量に獲れたことや、それを追ってオートセイが現れた話など、昔と今の様子を説明するとともに、「この自然あふれる豊かな恵みをいつまでも守り続けたい、皆さんで守っていきましょう！」と参加者に呼びかけました。

茨城町観光協会では、今後も観光スポットでもある潤沼の美しい風景を紹介しながら、勉強会を開催していくとしています。



文芸

《短歌》

○徐に手指暖めピアノ弾く七十路
ちかき過去の青年

●たわいない亡母との会話思いつ
つぽりと沢庵囁む午後のお茶

●紅梅の含み初むるが心地よく一
人手酌で花を眺むる

●萩谷彰一郎(長岡)
両陛下戦後慰霊の旅続け無辜の
市民の犠牲を悼む

●河野久子(昭和)
東京ドイツ村の丘に立ち目を見
張るアンデルセンの物語にも似る

●鳥羽田早苗(鳥羽田)
那珂川を登りて来たる鮭二匹体
寄せ合い川床を掘る

●清水操(馬渡)
花壇には立入禁止の立て札を草
花球根の新芽顔出す

●浦井正子(宮ヶ崎第四)
梅の花香りに心遊ばせて風まだ
寒きも春を待つらん

●二宮不二子(大戸)
高二の子飛行機に乗り沖縄へ親
は無事にと手を合わせいる

●秋山禮子(越安)
百余年歴史の幕の我が母校校歌
うたえば涙あふれる

●高田宗雄(大戸)
(評) 中島さん「ピアノが堪能と思われる七十
歳に近い方、「そ」は「十」のこと。高齢者が
青年の時の光り輝くような確かでピアノに向
かう様子を表現している。田口さん「作者は
午後のお茶の時間に今は亡くなってしまった母
とこんな日もあつたなと思いだしている。具体
的な結句が共鳴を呼んでいる。萩谷さん「五
感を使って身のまわりを細かく写生し読者を
共感させている。

《俳句》

○閉校の跡地に伸びる土筆ん坊
鳥羽田早苗(鳥羽田)

●太陽を背いっぱいに蓬摘む
浦井正子(宮ヶ崎第四)

●仕舞湯の柚子に一日の疲れあり
中島三千代(桜の郷)

●湯豆腐やテレビドラマに夢中なる
山崎文一(大戸)

●紅梅の香を友として草をとる
田口すい子(南川又)

●森林の中に佇み初音さく
田口正子(南川又)

●新年を迎え手にする田の水
岡山一二(上石崎)

●干涸びし切干大根日の匂ひ
佐久間勲(前田)

●雨降る夜一人ですする納豆汁
秋山禮子(越安)

●冬空に光る満月川面に揺れ
清水操(馬渡)

(評) 鳥羽田さん「最近、農山村の子どもの
減少に伴い、閉校となる学校が多い。跡地の
雑草の中にツクシソボを見つけたのはいい。浦
井さん「明るい太陽を背にしてヨモギを摘んで
いる光景「背いっぱいに」が場面を盛りあげ
ている。中島さん「一日中風呂に入っていた柚
子を見て、一日の体の疲れを感じたのはおもしろ。
山崎さん「晩酌を楽しむ時間」のテレビ
ドラマの面白さをひにくった。湯豆腐が冷め
てしまうよ。

【作品の送付先】

ハガキ等に3首、3句以内を書いて、住所氏名
明記の上、月末までにお送りください。
郵便〒311-1319 茨城県小堤1080
FAX 029(292) 6748
【問合せ先】 まちづくり推進課
029(240) 7126

すこやか「ニュース

健康増進課
(保健センター)
240-7134

野菜350g摂れていますか？

野菜にはビタミンや食物繊維などの
栄養素が多く含まれています。生活習
慣病やがんの予防に有用とされており、
「21世紀における国民健康づくり
運動」では、一日350g以上の野菜
を食べることを勧めています。茨城県
内では成人一人一日あたりの摂取量は
約290g(※)と、目標量に達して
いません。

※茨城県食育推進計画「第2次」より
引用

●野菜の摂取により期待される効果

低エネルギーで肥満予防、免疫力
アップ、便秘予防、血圧の安定、コレ
ステロールの吸収の抑制など

●野菜1日350g以上摂るために

1. 一汁三菜の組合せを意識して、3
食きちんと食べる。
2. 加熱して野菜のかさを減らす。
3. 味噌汁やスープを具だくさんにす
る。
4. 野菜を使った常備菜の作り置き
や、冷凍野菜の活用をする。
5. 外食のときは野菜が多いメニュー
にしたり、サラダなどを追加した
りする。

(例) ラーメンをタンメンに、親子丼
を中華丼に、など

健康増進課 (保健センター) 4月の予定			
日	曜日	事業名	受付時間
8	金	乳児健診	13:00～13:30
13	水	健康相談 育児相談	9:00～11:30 10:15～10:30
15	金	2歳児歯科検診	12:50～13:30
19	火	1歳6か月児健診	13:00～13:30
22	金	ごっこん教室 (離乳食教室)	9:45～10:00
26	火	3歳児健診	13:00～13:30

●1日350g以上の目安の数え方

小鉢(小皿)の野菜料理を1皿分
(約70g)、大皿の野菜料理1人分を
2皿分と数え、一日5皿分以上(70g
×5皿＝350g)と数えます。

(例)

1皿分…お浸し、サラダ、具だくさん
の味噌汁やスープ
2皿分…野菜炒め、酢豚、野菜の煮し
めなどの野菜中心の大皿料理

合併処理浄化槽設置補助金の 希望者を募集いたします！

茨城県では、し尿と生活雑排水を
一緒に処理できる合併処理浄化槽を
設置する方に対して予算の範囲内で
設置費用の一部を補助しています。

◎補助内容

補助人槽	補助限度額 (1基あたり)	補助対象要件
5人槽	645,000円	延べ床面積 140㎡(約42.35坪) 以下のもの
7人槽	772,000円	延べ床面積 140㎡(約42.35坪) を超えるもの
10人槽	959,000円	台所及び浴室が2か所以上ある場合 (二世帯住宅等)

※補助を受ける方のうち、既設の単独処理浄化槽を撤去する場合、撤去
費用の一部(限度額90,000円/基)を補助します。

◎受付期間

平成28年4月1日(金)～5月6
日(金) ※閉庁日は除く
午前8時30分～午後5時15分
申し込みできる方

◎申し込みできる方

公共下水道区域及び農業集落排水
事業実施区域を除く区域において、
平成29年2月末までに専用住宅(小
規模店舗等を併設の場合は住宅部分
の床面積が総面積の2分の1以上で
あること)へ高度処理型合併処理浄
化槽(N型)の設置補助事業が完了
できる方。ただし次の場合は補助対
象となりません。
・販売の目的で、合併処理浄化槽付
き住宅等を建築する場合
・住宅等を借りている方で、賃貸人
の承諾が得られない場合
・町税等を滞納している場合
・個人住宅を新築または、改築する
場合

◎申込方法

印鑑をご持参のうえ、下水道課窓
口(9番)へ直接お申し込みくださ
い。その際、浄化槽を設置する住宅
の延べ床面積と現在の排水処理状況
をうかがいますので、内容をご承知
おきのうえお越しくださいますよう
お願いします。

※応募者多数の場合は抽選

【問合せ先】

下水道課公共下水道グループ
029(292) 1111

中央公民館(旧駒場小学校校舎)における 諸室貸出の停止について

平成27年11月より、旧駒場小学校の一部を中央公民館の公民館棟として、諸
室(講座室・和室・調理室・調理準備室)の貸し出しを行っていましたが、改
修工事のため、平成28年4月より貸し出しを停止いたします。

※中央公民館大ホール(茨城県小堤1070番地)においては、通常どおり
貸し出しを行っております。

町民の皆さまにはご不便とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんが、
ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

◇貸出停止期間(予定)

平成28年4月1日～平成29年3月31日

◇貸出停止諸室

中央公民館(旧駒場小学校) 諸室(講座室、和室、調理室、調理準備室)

【問合せ先】生涯学習課 029(240) 7122

平成28年経済センサス・活動調査を実施します

総務省と経済産業省は、平成28年6月1日現在で、「平成28年経済センサス・
活動調査」を実施します。この調査は、同一時点での我が国のすべての産業分
野における事業所・企業の経済活動の状況を全国的・地域別に明らかにするこ
とを目的としており、全国のすべての事業所及び企業が対象になります。

皆さまの調査へのご理解・ご回答をよろしくお願いいたします。

平成28年
6月1日

【問合せ先】地域産業課(4月1日より企画政策課)
029(292) 1111

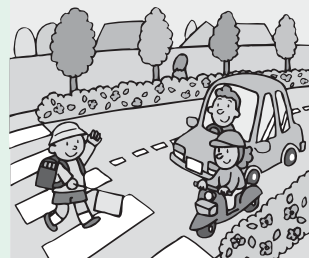


総務省・経済産業省・茨城県・茨城町

春の全国交通安全運動 (4月6日～4月15日)

～気をつけて 子どもに自転車 おとしより～

県内では、高齢者の関係する交通事故が増加しています。車の運転者は、子どもや高齢者を見かけたら、思いやりのある運転に努めましょう。歩行者は、道路を横断するときは必ず安全を確認し、無理な横断はやめましょう。薄暮時や夜間の外出では、反射材などを着用しましょう。



網掛公園に野鳥観察台設置

茨城町では、ラムサール条約登録湿地「涸沼」の豊かな自然をより多くの方に感じてもらえるよう、網掛公園に野鳥観察台を設置しました。

【問合せ先】 みどり環境課
☎029 (292) 1111



野鳥観察台からみる涸沼

となりのまちから

那珂市 静峰ふるさと公園「八重桜まつり」

日本のさくら名所100選の「静峰ふるさと公園」では、間もなく八重桜の季節を迎えます。「八重桜まつり」では、春を満喫いただける多彩なイベントを企画していますので、ぜひご来園ください。

▼場所 静峰ふるさと公園 (那珂市静1720-1)
▼期間 4月16日(土)～5月3日(火)

※4月23日～4月30日の午後6時から9時まで、夜桜が観賞できます。
※開花状況により変更する場合があります。

【問合せ先】 八重桜まつり実行委員会 ☎029 (298) 1111

笠間市 第45回笠間つじまつり

園内には様々な品種約8,500株のつじが植えられており、最盛期には小高い山一面が真っ赤に染まります。ゴールデンウィークには、野点やお囃子の演奏など楽しいイベントも開催します。

▼場所 笠間つじ公園 (笠間市笠間616-7)
▼期間 4月16日(土)～5月8日(日)

※開花状況により一週間程度延長する場合があります。
▼入園料 大人(高校生以上) 500円(中学生以下の方及び障害者手帳提示で本人と介護者一名まで無料。)

【問合せ先】 笠間市 商工観光課 ☎0296 (77) 1101

情報ひろば

4月号 2016 April その1

INFORMATION INFORMATION INFORMATION

平成28年度茨城県警察官採用試験(第1回)

茨城県警察では、平成28年10月(男女B)と平成29年4月(男女A)に採用する警察官を募集しています。

▼受験資格

・男女A 昭和62年4月2日以降に生まれた方で、学校教育法における大学(短期大学を除く)を卒業した方が平成29年3月31日までに卒業見込の方。または人事委員会がこれと同等と認める方。

・男女B 昭和61年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方で、前述「男女A」の受験資格(学歴部分)に該当せず、平成28年10月1日から勤務可能な方。

▼受付期間

・郵送・持参 4月12日(火)まで(消印有効)
・インターネット 4月11日(月)午後5時まで(受信有効)
▼その他 県内各警察署、交番、駐在所で採用案内を配布しています。詳細はお問い合わせください。

【問合せ先】 水戸警察署 ☎029 (233) 0110

または近くの交番・駐在所まで

JICAボランティア

国際協力機構では、JICAボランティア(青年海外協力隊、

スクエアダンス 初心者講習会

「しらさぎスクエアダンスクラブ」では、初心者講習会の参加者を募集しています。

カントリーミュージックと即興的でフリーなステップでの、楽しさを優先したダンスで、心身の若さを保つのに効果的です。

▼日時 5月6日(金)から毎週金曜日午後8時～10時

▼場所 茨城町中石崎公民館

【問合せ先】

亀山 ☎090 (4743) 5196
メール kanehph@yahoo.co.jp
有波 ☎090 (2237) 1553
小沼 ☎090 (2218) 4271

茨城いのちの電話 相談員募集

「いのちの電話」は、孤独の中にあつて、助け・慰め・励ましを求めている人に「電話」という手段で対話することを目的とするボランティア活動です。

▼応募資格 23歳～63歳の方

▼募集締切 5月9日(月)

▼必要書類 二千字以上のレポート、申込書、返信用封筒等

▼その他 今年6月から再来年3月まで、月3回研修を行います。その他詳細はお問い合わせください。

【問合せ先】 茨城いのちの電話 ☎029 (852) 8505



お詫びと訂正

お知らせ版平成28年3月15日号の4ページに掲載した、「平成28年度乳幼児健康診査等日程表」の内容に、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

◇訂正箇所

1歳6か月児健診4月の該当者(誤) H26.8.11～9.15生 (正) H26.8.1～9.15生

認知症対応型介護保険施設



自然豊かな涸沼の湖畔で、ふれあいがあり、温もりがある介護サービスを提供いたします

入居者募集
随時見学可

豊かな緑に包まれた環境で、安心と安らぎのある介護サービスを提供いたします



グループホーム ひぬまの杜
茨城町中石崎 1055 ☎029-240-8321 (担当 久保田)

グループホーム ひぬま
茨城町中石崎 159-1 ☎029-240-8117 (担当 小柴)

ちびっぴアート

いばらき中央認定こども園



「フルーツ大好き！」
おがわ のぞみ (5歳)



「宇宙人にあいたいな」
ふじえだ みここ (5歳)



四月になりますと本当に春になった感じがします。四季のある日本でも、特に落葉樹林が身近にある所が、季節の移り変わりが一番はつきりしています。茨城県内ではブナ帯が一番でしょうが、町内でもコナラやクヌギなどの林でよくわかります。しかし、今はコナラやクヌギの需要が極端に減少しているようで、下草が刈られなくなり、笹が繁茂している所が多くなつたように思います。笹が密生してしましますと、林下の植物の種類は少なくなります。でもまだ町内の林下でも見ることができきるキジムシロを紹介します。



里山に育む生きものたち

48 キジムシロ (バラ目 バラ科)

学名 *Potentilla fragarioides*
L. var. *major* Maxim

文・写真 / 安 昌美

▼キジムシロとは

バラ科キジムシロ属に属する多年草で、三〜五月に黄色の花をつけます。花はヘビイチゴなどに似ていますが、赤いイチゴのような果実はつきませんが、和名のキジムシロは、葉を広げている様子からキジ(雉)のムシロ(筵、蓆)の意味でつけられたとされています。キジは町内でも見られますが、今は子ども達に「むしろ」と言っても分からない子がいます。座布団はわかるようですが、「むしろ」は日常生活から遠くなっているようです。水田雑草にアゼムシロという植物があり、現地で畔は説明できるのですが、やはりムシロの説明は大変です。

国内では北海道から沖縄まであり、変化が多いとされています。国外では朝鮮に知られています。平地から山地

の明るい林下や林縁、草地に生え、茨城県内でも各地に見られます。町内ではこれまで野帳に記録したただけでも、網掛、海老沢、大戸、下石崎、城之内、常井、中石崎、生井沢、野曽、南栗崎、宮ヶ崎、前田で見えています。しかし、野草であつて雑草ではありませんので、耕作地や住宅街などにはありません。花粉は虫が運ぶとされていますが、茨城町ではどんな虫が花にくるのでしょいか。

▼キジムシロの仲間

町内のキジムシロ属の植物にはヒメヘビイチゴ、オヘビイチゴとミツバツチグリがあり、各地に普通に見られます。花はすべて黄色です。ヒメヘビイチゴとミツバツチグリは三枚の小葉を持ち、オヘビイチゴの葉は掌状複葉で小葉は5枚です。キジムシロの葉は羽状に五枚から七枚の小葉を持つ奇数羽状複葉となっています。また、ヒメヘビイチゴとオヘビイチゴは水田地帯や湿った所に生え、林縁や日当たりの良い草地にはほとんどありません。ミツバツチグリはキジムシロと似た環境に生育しています。ミツバツチグリは小葉が三枚で、ツチグリは根茎の部分が膨らんで塊になっていることから名が付けられています。しかし、この塊茎は食べられないようです。

これからは暖かくなりますので野や山に出て、自然を満喫してみませんか。

編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

茨城町の人口と世帯数

※カッコ内は前月比です。
(住民基本台帳 平成28年2月末現在)

- ◆総人口 33,441人 (-40)
男 16,675人 (-22)、女 16,766人 (-18)
- ◆世帯数 12,642世帯 (-16)

茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。